

学ぶ楽しさ無限大!

# 自由大学通信

## Vol.34 平成24年4月24日発行

発行 武蔵野地域自由大学事務局 〒180-0023 武蔵野市境南町 2-3-18

Tel : 0422-30-1904

E-mail : jiyu-daigaku@musashino.or.jp

Fax : 0422-30-1960

ホームページ <http://www.jiyu-musashino.org/>

<特集>	平成23年度称号記授与式レポート	p.1
<受講生募集>	自由大学講座【前期】「村上春樹からみる日本のゆくえー喪失から再生へ」	p.2
<受講生募集>	平成24年度武蔵野地域五大学共同教養講座	p.3
<速報>	平成24年度武蔵野市寄付講座(速報)	p.4-7
<大学公開講座>	亜細亜大学/成蹊大学/日本獣医生命科学大学/武蔵野大学	p.7-8
<大学掲示板コーナー>	東京女子大学/武蔵野大学仏教文化研究所	p.8-9
<伝言板コーナー>	銀青会	p.9
<事務局からのお知らせ>	称号記の受取りについて/学生証の有効期限についてなど	p.10

### 平成23年度称号記授与式レポート



新たに学位を取得された皆様、



おめでとうございます!!

3月24日土曜日、暖かな春の日差しの中、平成23年度の武蔵野地域自由大学称号記授与式が行われました。場所は東京女子大学チャペル、授与対象者72名のうち28名の皆さんが参加され、厳かな雰囲気の中で武蔵野地域自由大学 長倉三郎学長より称号記が授与されました。



授与式終了後、本館前のフランス式庭園を横切って学生食堂に席を移し、懇談会が催されました。参加者のみなさんは長倉学長をはじめ、五大学学長、市長、教育長とテーブルを囲み、和やかに歓談されました。今年度は新たに市民博士5名、市民修士12名、市民学士23名、市民準学士32名が誕生しました。



#### 一称号取得者 総数一

市民博士	16名 (50講座以上修了)
市民修士	63名 (30講座以上修了)
市民学士	76名 (20講座以上修了)
市民準学士	203名 (10講座以上修了)

# 村上春樹からみる日本のゆくえ ——喪失から再生へ

講師 宮脇 俊文（成蹊大学経済学部 教授）

戦後の日本は奇跡的な経済発展と引き替えに、多くの大切なものを失ってきた。それは物質的な繁栄の影に隠れて、うっかり見落とされてきたものばかりであった。日本が一つの頂点に達して、そこから降りていく段階にさしかかった今、われわれは戦後獲得したものと喪失したものは何であったかをしっかりと総括しなければならない。激動の60年代から、高度資本主義社会、バブル崩壊、空白の20年、そして3.11の大震災を経験してきた日本はこれから何処に向かえばいいのか？

このようなテーマを小説という形で問い続けてきたのが村上春樹という作家である。彼の作品を読みながら、戦後の日本が辿ってきた道、そして今後のゆくえを考えていきたい。



講師著作



講師近影

- 6月 1日（金）村上春樹と日本人の精神——われわれは何を失ってきたのか？
- 6月 8日（金）村上春樹とジャズのクールで親密な関係——システムからの脱却をめざして
- 6月 22日（金）「個」であること、「自由」であること
- 6月 29日（金）村上春樹とアメリカ——夢の喪失と再生
- 7月 6日（金）『1Q84』と3.11と日本の再生

■時 間：午後7時～8時30分

■場 所：武蔵野プレイス4階 フォーラム

■定 員：50名（超えた場合抽選）

■費 用：無料

■申 込：①電話 0422-30-1904

②往復ハガキに[氏名、学籍番号、電話、住所]を明記のうえ、自由大学事務局「自由大学講座」係へ郵送

③直接武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口へ

④「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」(<http://www.musashino.or.jp/musashinonet.html>)

※ホームページから申し込んだ場合、当落は各自申込サイトで確認してください。

結果通知の郵送はありません。

※抽選結果公開期間：5月22日（火）～6月15日（金）

■締切：5月16日（水）必着

# 平成 24 年度武蔵野地域五大学共同教養講座 受講生募集

5つのキャンパスで  
知的探求

平成9年度から開催している武蔵野地域五大学共同教養講座は、1大学4回、全20回の講座で、5つのキャンパスを順番に会場とします。各大学の特色あるテーマで構成され、幅広く学ぶことができる人気の講座です。ご応募お待ちしております！（特定の大学のみの申込は出来ません）

各大学2回以上  
全15回以上出席で  
1ポイント

■対象：武蔵野地域自由大学学生及び18歳以上の市内在住・在学・在勤の方

■定員：120名（超えた場合抽選）

■費用：5,000円（資料代）

■申込：①自由大学学生の方は電話 0422-30-1904

②往復ハガキに[氏名、学籍番号、電話、住所、生年月日]を明記のうえ、自由大学事務局「教養講座」係へ郵送

③返信用ハガキを持って直接武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口へ

④「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」(<http://www.musashino.or.jp/musashinonet.html>)

※インターネットで当落確認ができます（5月21日～31日）。

■締切：5月15日（火）必着

■時間・曜日：土曜日、午後1時30分～3時

回	月 日	テーマ	講 師
<b>武蔵野大学「脳を学び脳の衰えを防ぐ」</b>			
1	6月 2日	ヒトの脳のつくりと働き	阿部 和穂（薬学部教授）
2	6月 9日	記憶と物忘れ	
3	6月16日	認知症	
4	6月23日	うつ病	
<b>東京女子大学「広告が伝えるもの」</b>			
5	6月30日	広告とジェンダー	イー ジーナ 李 津娥（現代教養学部教授）
6	7月 7日	社会的メッセージとしての広告	
7	7月14日	政治的メッセージとしての広告	
8	7月21日	エンタテインメントとしての広告	
<b>成蹊大学「欧州ソブリン危機」</b>			
9	9月 8日	経済危機としての全般的な特徴	井上 智夫（経済学部教授）
10	9月15日	経済危機から見てきた共通通貨圏の問題	フー トウン カイ Vu Tuan Khai（経済学部助教）
11	9月22日	ソブリンリスクとその評価	時岡 規夫（経済学部教授）
12	9月29日	日本経済への影響と示唆	幸村 千佳良（名誉教授）
<b>日本獣医生命科学大学「新しい動物疾病診断法の開発」</b>			
13	10月 6日	腫瘍マーカーとその周辺	中垣 和英（獣医学部准教授）
14	10月13日	ペットのがん ～分子医療の進歩～	盆子原 誠（獣医学部准教授）
15	10月20日	最近の動物感染症の診断法と治療への試み	田中 良和（獣医学部講師）
16	10月27日	肥満に伴う乳腺腫瘍のアディポネクチンによる早期診断	川角 浩（付属動物医療センター講師）
<b>亜細亜大学「今からでも間に合う生活習慣病予防（ライフスタイルと健康）」</b>			
17	11月10日	肥満の予防と改善法 （ライフスタイルの欧米化、肥満判定）	大澤 啓藏（国際関係学部教授）
18	11月17日	健康を目指す運動の方法 （実施条件、若さを保つ運動）	
19	11月24日	生活習慣病の成り立ちと予防法（1） （血液循環と健康、高血圧症）	
20	12月 1日	生活習慣病の成り立ちと予防法（2） （癌、動脈硬化、虚血性心疾患、脳卒中）	

## 平成 24 年度後期 武蔵野市寄付講座 速報

詳細は「自由大学通信 Vol.35 (7月発行予定)」、市報むさしの7月15日号に掲載します。  
 下記内容は予定です。演題や講師、日程等が変更になる場合もありますが、ご了承ください。  
 ※自由大学通信 Vol.35 がお手元に届き次第お申込受付を開始します。

- 対象：武蔵野地域自由大学生および18歳以上の市内在住・在学・在勤の方
- 定員：各講座50名（超えた場合抽選）
- 費用：5,000円（資料代）
- 受講決定後に必要な書類：健康診断書（平成23年9月1日以降受診のもの。コピーでも可）、  
 受講同意書、証明写真

### 亜細亜大学

- テーマ：「現代グローバル論 ―グローバル化の進展と地域社会―」
- コーディネーター：臼井 邦彦（経済学部准教授）、土肥原 洋（経済学部教授）
- 期間：平成24年9月25日～平成25年1月22日（全15回）
- 曜日・時間：火曜日・午後2時30分～4時

我々の地域社会は、公共部門、民間部門、NPO やその組織の人々などが日常的に行う、さまざまな分野の活動により成立しており、その活動分野は多岐にわたる。これらの活動は、近年の少子高齢化、バブル崩壊後の長期的な景気停滞、財政危機などにより、大きな影響を受けており、そうした課題の解決にはグローバルな視点とローカルな視点の2つの面を持つことが欠かせない。授業では、グローバルな視点とローカルな視点を併せ持つ12名程度の専門家が、各々の研究・活動の成果を生かし、地域社会を取り巻く現状と課題、今後の展望の基本的な理解の修得を目標として、講義を行う。

回	月日	テーマ	講師
1	9月25日	ガイダンス(講座の趣旨、進め方)	コーディネーター
2	10月2日	グローバル経済と地域経済社会	井上 裕行 (内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官)
3	10月9日	消費者問題の現状と問題点	田口 義明 (名古屋経済大学経済学部教授・元国民生活センター理事)
4	10月16日	ワークライフバランスの進め方	矢島 洋子 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社公共経営・公共政策部主任研究員)
5	10月23日	離島から見た過疎問題	渡辺 東 (財団法人日本離島振興センター専務理事)
6	11月6日	若者論(グローバルな視点、地域の視点)	久木元 真吾 (公益財団法人家計経済研究所次席研究員)
7	11月13日	災害復興と地域社会	荒井 信幸 (和歌山大学経済学部教授)
8	11月20日	地域分権改革と道州制	西 達男 (株式会社日本政策投資銀行上席調査役)
9	11月27日	人間の安全保障と予防外交	平井 照水 (公益財団法人総合研究開発機構研究調査部研究コーディネーター)
10	12月4日	日仏経済関係の展開	有地 浩 (株式会社日本決済情報センター社長・前パリクラブ副会長)
11	12月11日	ベトナム経済と日本経済	藤岡 文七 (一般社団法人日本ベトナム経済フォーラム専務理事)
12	12月18日	韓国経済と日本	高安 雄一 (大東文化大学准教授)
13	1月8日	エネルギー問題と日本経済	門多 治 (財団法人電力中央研究所主任研究員)
14	1月15日	世界経済、日本経済、地域経済の見方、考え方	コーディネーター
15	1月22日	まとめ、修了式	コーディネーター

- テーマ：『会計』から見る現代社会の動向
- コーディネーター：伊藤克容（成蹊大学経済学部教授）
- 期間：平成24年9月25日～平成25年1月8日（全14回）
- 曜日・時間：火曜日・午後4時30分～6時

企業会計は、その企業に関する、膨大なすべての取引データを収集し、処理し、それらを企業内外の情報利用者に伝達する役割を果たす。企業内部で利用される場合を「管理会計」、企業外部の利害関係者へ報告される場合を「財務会計」という。会計は、企業をはじめ、あらゆる組織の存続・発展のために重要な技術である。会計実務には、人類の経済活動の展開と歩調を合わせ、相当の歴史がある。また、経済活動の複雑化や高度化にともなって、会計の実務も理論も、時代とともに大きく移り変わっている。この講座では、様々な立場の講師をお招きし、様々な企業の内外での会計情報の作成方法や利用のされ方、企業業績の推移などを概観することで、現代の企業や社会がどのような方向に移行しているのかを把握することに努めたい。

回	月 日	テーマ	講 師
1	9月25日	現代企業の活動と会計情報の関わり	伊藤 克容（成蹊大学経済学部教授）
2	10月2日	会計情報と企業の見方・選び方	秀永 祐介（コンサルタント、アイ・アールジャパン）
3	10月9日	会計制度の国際化：IFRSの動向と課題	梅原 秀継（中央大学商学部教授）
4	10月16日	医療機関と管理会計	渡辺 亮（一橋大学大学院博士後期課程）
5	10月23日	社会・行政における管理会計の貢献	河路 武志（成蹊大学経済学部教授）
6	10月30日	「評判」を管理するための会計手法	櫻井 通晴（城西国際大学客員教授、専修大学名誉教授）
7	11月6日	現代日本企業の管理会計実務	伊藤 和憲（専修大学商学部教授）
8	11月13日	ソーシャルメディアと企業経営	野本 纏花（著述家、コンサルタント）
9	11月20日	非営利組織に管理会計は必要か	挽 文子（一橋大学大学院商学研究科教授）
10	11月27日	金融機関におけるIFRS対応の実際	富田 吉隆 （コンサルタント、アビームコンサルティング株式会社シニアコンサルタント）
11	12月4日	公認会計士・監査審査会の使命と業務	廣本 敏郎 （公認会計士・監査審査会委員、元一橋大学大学院商学研究科教授）
12	12月11日	監査制度の現状と課題	品川 陽子（公認会計士、新日本監査法人）
13	12月18日	制度会計と企業動向	高橋 史郎（成蹊大学経済学部教授）
14	1月8日	会計から見る現代社会の動向	伊藤 克容（成蹊大学経済学部教授）

## 武蔵野大学（武蔵野キャンパス）

- テーマ：「安心・安全社会のために～福祉の現場から考える～」
- コーディネーター：川村 匡由（人間科学部教授）
- 期間：平成24年9月24日～平成25年1月28日
- 曜日・時間：月曜日・午後1時～2時30分

昨年3月の東日本大震災・原発事故から9月で早くも1年半になるが、原発事故の収束もさることながら本格的な復旧・復興はこれからである。これを機に、安心・安全な社会づくりの重要性が改めて問われることになった。そこで、今年度後期はこの「安心・安全社会」のため、それぞれの福祉の現場からその具体策を提言し、ともに学び、考える機会とする。

回	月日	テーマ	講師
1	9月24日	「開講式」 今、なぜ、安心・安全社会か ～雇用から環境、医療、年金、介護、災害まで～	川村 匡由（人間科学部教授）
2	10月1日	長野県栄村大地震における復興支援 ～地域のつながりについて～	相澤 博文(栄村復興支援機構「結い」代表)
3	10月8日	長野県栄村災害復興支援におけるボランティア活動 ～武蔵野大学社会福祉学科学学生の災害復興生活支援ボランティア活動から	小松 美智子（人間科学部教授）
4	10月15日	支援者・被災者家族として高齢者ケアを考える ～ある被災者の思いに寄り添うことを通して～	矢野 明宏（人間科学部准教授）
5	10月29日	助かる命を助ける町づくり ～国分寺市における災害に強い地域づくり実践を通して～	佐藤 信人（人間科学部教授）
6	11月5日	超高齢社会においても地域で安心・安全に暮らし続けられるか ～「限界」集落と地域住民のエンパワメント	渡辺 裕一（人間科学部准教授）
7	11月12日	市民社会のなかでのまちづくり	本橋 駒三郎 (西東京市障害者福祉をすすめる会事務局長)
8	11月19日	災害時における安心・安全と地域福祉 ～支援マニュアルの検討と作成を通して～	熊田 博喜（人間科学部准教授）
9	11月26日	これからの老親および配偶者の介護～介護保険との関連で～	服部 万里子（NPO渋谷介護サポートセンター事務局長）
10	12月3日	医療崩壊と再生への取り組み～市民が医療を守る～	小松 美智子（人間科学部教授）
11	12月10日	セルフヘルプ・グループ ～当事者の力～	小俣 智子（人間科学部准教授）
12	12月17日	終の棲家を考える～高齢者住宅、介護施設を視野に～	藤森 洵子（老後問題研究家）
13	1月7日	こうありがたい遺言・相続・成年後見 ～安心・安全な老後の財産管理～	河原 奈緒（司法書士）
14	1月21日	ノーマリゼーションと安心・安全	李 仁之（人間科学部教授）
15	1月28日	報告会・修了式	川村 匡由（人間科学部教授）

## 中近東文化センター

- テーマ：「中近東の世界遺産—その神秘と歴史— パート3」
- コーディネーター：岡野 智彦（中近東文化センター研究員）
- 期間：平成24年10月～平成25年2月（全11回）
- 曜日：土曜日
- 時間：午後2時～3時30分

中近東の世界遺産をさまざまな視点から、わかりやすく説明します。中近東の歴史・文化を身近に感じていただけるような連続講座です。

(中近東文化センターつづき)

回	月 日	テ ー マ	講 師
1	10月中旬	「アブ・シンベルからフィラエまでのヌビア遺跡群」 (エジプト)	近藤 二郎 (早稲田大学教授)
2	10月下旬	「ミュケーネとティリンス略奪王国の要」 (ギリシア)	勝又 俊雄 (女子美術大学教授)
3	11月上旬	「カルタゴ」 (チュニジア)	佐藤 育子 (日本女子大学研究員)
4	11月中旬	「アテナイのアクロポリス」 (ギリシア)	水田 徹 (東京学芸大学名誉教授)
5	11月下旬	「聖書時代の遺丘群—メギッド・ハツォール・ベエル・シェバ」 (イスラエル)	池田 裕 (中近東文化センター常務理事)
6	12月上旬	「ギザからダハシュールまでのピラミッド地帯」 (エジプト)	近藤 二郎 (早稲田大学教授)
7	12月中旬	「バムとその文化的景観」 (イラン)	岡田 保良 (国士舘大学教授)
8	1月中旬	「イスタンブルの歴史地区」 (トルコ)	鈴木 董 (東京大学教授)
9	1月下旬	「ビソトゥーン」 (イラン)	春田 晴郎 (東海大学教授)
10	2月上旬	「ビブロス」 (レバノン)	佐藤 育子 (日本女子大学研究員)
11	2月中旬	「ハイファ及び西ガリラヤ地方のパハイ聖地群」 (イスラエル)	池田 裕 (中近東文化センター常務理事)

## 自由大学履修対象 大学公開講座

事前申込不要の無料講座です。会場に直接ご来場ください。問合せは各大学まで。

### 亜細亜大学 <連続討論会街づくり未来塾 I >

3回以上出席で  
0.5ポイント

回	月 日	演 題	講 師
1	6月18日	共生の視点に立ったまちづくり —防災を中心に考える—	岩崎 みどり (むさしの未来まちづくりたい 副代表)
2	6月25日	東日本大震災の教訓に学ぶ武蔵野市の防災対策	笹井 肇 (武蔵野市防災安全部長)
3	7月 2日	3.11東日本大震災と同時代人の役割	中村 八郎 (NPO法人 暮らしの安全安心サポーター理事長)
4	7月 9日	参加者討論会	栗田 充治 (「街づくり未来塾 I」担当教授) ※1~3回目の講師がゲスト講師として参加予定

■曜日・時間：月曜日・午後2時30分～4時

■会 場：2号館 227教室

■問合せ：地域交流課【TEL 0422-36-2469】

### 成蹊大学 <2012年度前期公開講座>

総合テーマ「3.11を越えて—これからの社会を展望する—」

3回以上出席で  
0.5ポイント

回	月 日	テ ー マ	講 師
1	5月26日	災害と日本人の国民性 —生き方の再構築に向けて—	鈴木 紘治 (成蹊大学名誉教授)
2	6月 2日	東日本大震災と災害・復興ボランティア活動 —今後の課題を考える—	渡戸 一郎 (明星大学人文学部教授、成蹊大学非常勤講師)
3	6月16日	原子力発電と日本のエネルギーの長期的展望	佐藤 浩之助 (九州大学名誉教授、核融合科学研究所 名誉教授、成蹊小・中・高等学校卒業生)
4	6月30日	ドイツのエネルギー政策の変遷 —再生可能エネルギー中心への転換の道	宮本 光雄 (成蹊大学法学部特任教授)

■曜日・時間：土曜日・午後1時30分～3時30分

■会 場：成蹊大学4号館ホール

■定 員：500名 (先着順)

■問合せ：企画運営課【TEL 0422-37-3535】

日本獣医生命科学大学<前期総合文化講座>  
総合テーマ「災難に備える安心優先の食生活」

3回以上出席で  
0.5ポイント

回	月日	演題	講師
1	5月25日	『放射性物質と食品の安全性について』	藤田 道郎 (日本獣医生命科学大学獣医学科教授)
2	6月 1日	『災害時における食料不安と「食」の備え方』	佐々木 輝雄 (日本獣医生命科学大学食品科学科教授) 笹井 肇 (東京都武蔵野市防災安全部部长)
3	6月 8日	『食環境における電磁波による健康への影響』	斉藤 賢一 (日本獣医生命科学大学食品科学科教授)
4	6月15日	『知っておきたい災害時における食生活と栄養』	長野 美根 (日本食育協会理事、武蔵野市給食・食育振興財団理事、東京医療保健大学客員教授)

■曜日・時間：金曜日・午後4時20分～6時  
■定員：100名(先着順)

■会場：日本獣医生命科学大学第一校舎 B棟312教室  
■問合せ：地域社会生涯学習委員会【TEL 0422-31-4151】

武蔵野大学<日曜講演会>

7回以上出席で  
1ポイント

回	月日	講題	講師
第539回	4月15日	親鸞和讃に学ぶ	田中 教照 (学校法人 武蔵野大学 学院長)
第540回	5月20日	自我の覚りへの旅	北畠 知量 (同朋大学大学院人間福祉研究科 教授)
第541回	6月17日	誓願に生きる	丘山 新 (東京大学 東洋文化研究所 教授)
第542回	7月15日	親鸞と奇蹟	清基 秀紀 (京都女子大学 講師)
第543回	9月16日	マックス・ウェーバーをめぐって(仮題)	横田 理博 (電気通信大学情報理工学部 准教授)
第544回	10月14日	仏教福祉の原理を探る	矢島 道彦 (東京大学非常勤講師、駒澤大学非常勤講師)
第545回	11月18日	仏の持ち物 一香と数珠一	西村 実則 (大正大学 教授)
第546回	12月16日	戦後教育のなかの「宗教」 —「宗教的情操」をどう考えるか—	貝塚 茂樹 (武蔵野大学 教授)
第547回	H25年1月13日	近代文学者の宗教観	土屋 忍 (武蔵野大学 准教授)
第548回	2月17日	歴史に学ぶ	寺崎 修 (武蔵野大学 学長)

■曜日・時間：日曜日・午前10時～11時30分  
■問合せ：総合事務課【TEL 042-468-3114】

■会場：4月は雪頂講堂、5月以降は5号館(武蔵野キャンパス)

## 大学掲示板コーナー

自由大学履修対象ではありませんのでご注意ください。

### 東京女子大学<夏季特別講座>

#### 「情報と感情」電子メディアはコミュニケーションを変えたのか？

回	日時	講義題目	講師
A	7月28日(土) 午前10時～12時	人と人とのつながりの現在 - 歌謡曲で考える電子メディアコミュニケーション -	加藤 尚吾 (東京女子大学専任講師)
B	7月28日(土) 午後1時～3時	ポール・グレアムとITベンチャー	竹内 俊彦 (東京福祉大学准教授)
C	7月29日(日) 午前10時～12時	感情伝達の現在 - テキストコミュニケーションの今昔 -	加藤 由樹 (相模女子大学専任講師)
D	7月29日(日) 午後1時～3時	情報モラル教育の現在 - デジタルネイティブのコミュニケーション -	北澤 武 (東京未来大学准教授・東京女子大学非常勤講師)

■受講料：1コマ1,000円(武蔵野地域自由大学学生及び学生半額)

■定員：250名(先着順)

■申込方法：FAXまたはE-mail、またはハガキにて

①氏名 ②〒住所 ③電話番号 ④受講No.(A～D) ⑤学生及び武蔵野地域自由大学学生の方は明記  
をご記入の上お申し込みください。受講料は当日現金でお支払いください。

■締切：7月20日(金)必着

■申込・問合せ：〒167-8585 杉並区善福寺2-6-1 東京女子大学教育研究支援課「夏季特別講座」係  
FAX 03-5382-6479 E-mail support@office.twcu.ac.jp TEL 03-5382-6470



武蔵野大学<仏教文化研究所 公開講座>

連続公開講座統一テーマ「仏教の未来—新しい挑戦に向かって」

日程	タイトル	講師
5月5日	仏教と言語—原点からの挑戦—	佐藤 裕之 (武蔵野大学教授)
6月2日	インドの仏教、日本の仏教、そして・・・	宮崎 哲弥 (評論家)
7月7日	「いのち」に寄り添う現場から	磯村 健太郎 (朝日新聞記者)
10月6日	仏教—無限の可能性	爪田 一寿 (武蔵野大学講師)
11月3日	生きた寺を作ろう — 住職の願い	馬場 昭道 (住職)

■曜日・時間：土曜日・午後1時30分～3時

■会場：武蔵野キャンパス5号館グリーンホール

☆聴講無料・申込不要

武蔵野大学<仏教文化研究所 公開講座>

シンポジウム「欧米の仏教者の声を聴く—日本仏教の未来へのヒント」

コーディネーター：田中ケネス (仏教文化研究所所長/武蔵野大学教授)

日程	タイトル	シンポジスト
9月15日 (土)	西洋人仏教徒—改宗の動機と実践	岩本 明美 (鈴木大拙館主任研究員)
	アメリカへ渡った日系移民と日本仏教の1世紀	高橋 典史 (東京学芸大学非常勤講師)
	日本の女性仏教者を取り巻く諸問題—欧米仏教との比較から	川橋 範子 (名古屋工業大学准教授)

■時間：午後1時30分～5時

■会場：武蔵野キャンパス5号館グリーンホール

☆聴講無料・申込不要

武蔵野大学<仏教文化研究所 公開講座>

年一回特別公開講座

日程	タイトル	講師
8月4日 (土)	お浄土とは何か	ひろさちや (仏教思想家)

■時間：午後1時30分～3時

■会場：武蔵野キャンパス5号館グリーンホール

☆聴講無料・申込不要

■問合せ：仏教文化研究所【TEL 042-468-3145】※連続公開講座・シンポジウム・特別公開講座共通

## 伝言板コーナー

掲載内容についてのお問合せは、各問合せ先までお願いします。



### <仲間あつまれ (定期的に活動する団体等の会員募集)>

団体名	活動時間/場所	費用	問合せ
銀青会	毎月第2・4木曜日	年会費1,500円	高橋 繁夫 TEL 0422-53-9279

■活動内容：亜細亜大学聴講生の会。会員相互の親睦・知識の向上を目的。

23年度は、亜細亜大学教授による講座3回、ビデオ鑑賞会3回、バス研修1回、懇親会2回、望年会1回、学園祭に参加し作品展1回等を開催した。

### <伝言板コーナー掲載希望の方へ>

A「おいでください (日程の決まっている催し)」とB「仲間あつまれ (定期的に活動する団体等の会員募集)」の2種類があります。

掲載をご希望の方は「掲載申込書」(自由大学事務局にて配布)に記入のうえ、お申込ください。

## 事務局からのお知らせ

### ❶ 平成 23 年度称号記授与式を欠席された方へ【称号記を取りに来てください】

平成 23 年度称号記授与式に欠席された方の称号記を自由大学事務局で保管しています。窓口でお渡しいたしますので、受け取りにお越しくくださいますようお願いいたします。なお、その際に新しい称号を記載した学生証をお渡しします。現在お使いの学生証は事務局で回収しますので忘れずにお持ち下さい。

### ❷ 学生証の有効期限をご確認ください！（有効期限はご自分の誕生月の末日です。）

今年度より学生証の更新は有効期限の 2 ヶ月前の月の 1 日からできます（休館日を除く）。更新を希望される方はお早目の手続きをお願いいたします。

また有効期限内にお手続きのない場合、退学となりますので、ご注意ください。

#### 【更新時必要書類】

- ①更新申請書  
（自由大学事務局にて配布、自由大学HPからダウンロード可）
- ②現在の学生証
- ③住民登録の確認できるもの（保険証・免許証など）  
※在住でない方は在勤を証明できるもの、社員証のコピーまたは在勤証明書（勤務先発行のもの、または自由大学事務局仕様のもの—入学願書内の勤務先証明欄への記入でも可）を提出

学生証の有効期限	更新手続き期間
2012/05/31	3月1日～5月31日
2012/06/30	4月1日～6月30日
2012/07/31	5月1日～7月31日

### ❸ 健康診断書について

正規科目や武蔵野市寄付講座を受講される場合、健康診断書の提出が必要となります。学生と同じ教室で受講するにあたり、結核の有無と健康状態を確認するためです。

ご提出いただいた健康診断書は自由大学事務局を通じて各大学に送付いたします。個人情報保護の観点から事務局で控えを保管することはいたしません。

提出はコピーでも結構ですので原本をお手元に保管されることをお勧めいたします。なお、有効期限は受診日より 1 年間です。

※ご提出いただく健康診断書では、

①胸部レントゲンの結果（写真は必要ありません。）②医師の総合所見の 2 点が必須となりますので、これから健康診断を受けられる場合はご注意ください。

### ❹ Place Info.（プレイス インフォ）できました！

平成 24 年度版 武蔵野プレイス 講座・イベント情報誌が完成しました。武蔵野プレイスで開講予定のプログラムがぎゅっとつまった一冊です。武蔵野プレイスのほか、市内図書館や各市政センターなどでも配布中です。また、自由大学生へは本通信に同封してお送りいたしました。ぜひご覧ください。



## 武蔵野地域自由大学事務局

〒180-0023

武蔵野市境南町 2-3-18 武蔵野プレイス 3 階自由大学事務局

TEL 0422-30-1904

FAX 0422-30-1960

E-mail jiyu-daigaku@musashino.or.jp

休館日 水曜日、第 3 金曜日（第 3 金曜日の属する週の水曜日は開館）  
年末年始、図書特別整理日



武蔵野駅南口 徒歩 1 分